

週刊

鋼構造ジャーナル

2020
10/26 NO. 2002

週刊(毎週月曜日発行)／購読料：1カ年52,500円、6カ月28,500円(税・送料込み)／昭和55年9月26日第三種郵便物認定／発行所：株式会社 鋼構造出版／発行人：田中貴士／編集人：大熊稔／本社：東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 〒103-0025 電話：東京03(5642)7011(代表) FAX 03(5642)7077／大阪支社：大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) FAX 06(6536)7603／札幌支局：札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 FAX 011(873)3636／振込銀行口座：みずほ銀行京橋支店024-1044873／郵便振替口座：東京00130-9-13713

おもな記事

- 加藤電気、川田、巴の3工場を表彰／鉄骨建設業協会 (2面)
- H形鋼は7万4000円／物調10月資材価格調査…… (5面)
- 「県庁オープンデー」の出展内容確認／埼玉県鉄構業協組 (8面)
- 「オーエーテック技報」を発刊／オーエーテック(札幌) (12面)
- 6割の企業が「不況・やや不況」／浦安鉄鋼団地の9月景況調査 (13面)

- 口ボット増設などで生産効率化図る／新免製作所 (兵庫) (14面)
- 「さび止め塗料研修会」を開催／ムラヤマ(山形) : (15面)
- 大手ファブトップ／宮地エンジニアリングG・青田重利社長 (16面)
- 福島に鉄骨製作工場を開設／大森工業野田(千葉) : (17面)
- 山川製作所(滋賀)をグループ化／宮脇钢管(大阪) (24面)



①支部会②大竹支部長③米森会長④全構協三役との意見交換会⑤全構協三役

2月以来の対面支部会を群馬で開催

全構協三役との意見交換会も

全構協・関東支部

全国鐵構工業協会・関東支部
(支部長：大竹良明・群馬県鐵構業協同組合理事長)は
15日、群馬県高崎市のホテルメトロポリタン高崎で今年2
月以来となる対面での支部会と、全構協三役との意見交換
会を開いた。

冒頭のあいさつで大竹支部長は「コロナ禍の影響もあつて業界環境は先が読めない状況にあるが、原価を抑えて見積りを出すことを改めて徹底し、この難局を皆で乗り切らたい」と強調した。

支部会ではコロナ禍の中で

支部間の意見・情報交換をよりスマートかつ積極的に行うため、リモート会議を推進する方針を決めた。対面での支部会はコロナの感染状況を見極めた上で開くこととし、今回のように東京以外での開催も検討していく。

また前年度に全構協技術委員会が作成し、各県組合に交付済みの「見積条件書」と「工程管理表」の活用促進について説明会を開くことを決定。11～12月をめどに全構協会議室で開催し、コロナ感染対策としてウェブでの参加も可能とする。

当日は支部会に引き続き、全構協三役との意見交換会を開催。全構協から米森昭夫会長、永井毅、大島嗣雄、山本泰徳の3副会長、辰巳功専務理事が参加した。意見交換会では米森会長のあいさつ、協会の事業計画の説明、各副会長が担当する特別委員会の紹介を受けて現状の課題などについて活発な質疑が行われた。

32ページ

北海道機械工業会

全執務エリアにパーテーション設置

大川鉄工所らが寄贈

北海道のものづくり産業を総合的に支援する北海道機械工業会(本部・札幌市中央区)はこのほど、新型コロナウイルス感染防止対策において道が主導する「新北海道スタイル」順守の観点から、会議室にも飛沫防止のパーテーションを設置。これにより全ての執務エリアでパーテーションの設置を完了した。

設置されたアクリル製パーテーションは、同工業会・電機電子部会の中央ネットワークプレート(札幌市、氏家



▲全ての執務エリアでパーテーションの設置を完了



恒例の三峯神社・安全祈願 今年はコロナ禍で代表ひとりが参拝

埼玉県鉄構業協組

商売繁盛などを祈願
株式会社の三峯神社で安全や

佳宣・清水スチール会長
人を代表して幹事の島田
年を通常通り、皆で参拝
できることを願つていい
恒例行事で、例年多くの
組合員、協力会員が参加
して安全や商売繁盛などを
祈願する。ただ今年は
コロナ禍の影響で団体での
境内立ち入りの自粛が
求められたため、参加14

埼玉県鉄構業協同組合の労務委員会(委員長)増田芳隆・増建社長)は3日、秩父市の三峯神社で安全祈願を執り行うとともに、市内の旅館で懇親会を開いた。

安全祈願は約25年続く恒例行事で、例年多くの組合員、協力会員が参加して安全や商売繁盛などを祈願する。ただ今年はコロナ禍の影響で団体での境内立ち入りの自粛が求められたため、参加14

人が1人で参拝。その他の参加者は懇親会場の谷津川館に直行し、懇親会の席でご祈祷されたお札を受け取った。なお、懇親会は十分な座席間隔の確保など、徹底したコロナ感染防止策のもとで和やかに行われた。

増田委員長は「コロナ禍の中ではあるが、当業界では安全が何よりも優先されるため、変則的ながら今年も実施した。来年は通常通り、皆で参拝できる」と話した。

一次加工ラインを更新(働き方改革推進中)



株式会社桂スチール

東京営業所 〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町3-10-2
KS日本橋ビル3F
TEL(03)5623-9747 FAX(03)5623-9748

鉄構事業本部 〒705-0132
岡山県備前市三石200番地
営業部 TEL(0869)62-2312・FAX(0869)62-2313
生産管理部 TEL(0869)62-2314・FAX(0869)62-2315
品質管理部 TEL(0869)62-2316・FAX(0869)62-2317
総務部 TEL(0869)62-2318・FAX(0869)62-2317

